

平成30年 7月24日

資料提供先 福山市政記者クラブ
府中市役所記者クラブ

平成30年7月豪雨に対する 芦田川における治水事業の効果について【速報】

平成30年7月豪雨に対する芦田川における主な治水事業の効果について、速報をとりまとめましたので、お知らせします。

お問い合わせ先

【河川に関すること】

国土交通省 中国地方整備局 福山河川国道事務所

副 所 長 しみず のぶお 清水 信夫
調査設計第一課長 わかい かつみ 若井 克文

TEL(084)923 - 2628 FAX(084)923 - 2517

ホームページ <http://www.cgr.mlit.go.jp/fukuyama/>

【八田原ダムに関すること】

国土交通省 中国地方整備局 八田原ダム管理所

所 長 うめだ としゆき 梅田 敏之
管 理 係 長 ひやおか ただゆき 部谷岡 忠之

TEL(0847)24 - 0490 FAX(0847)24 - 0489

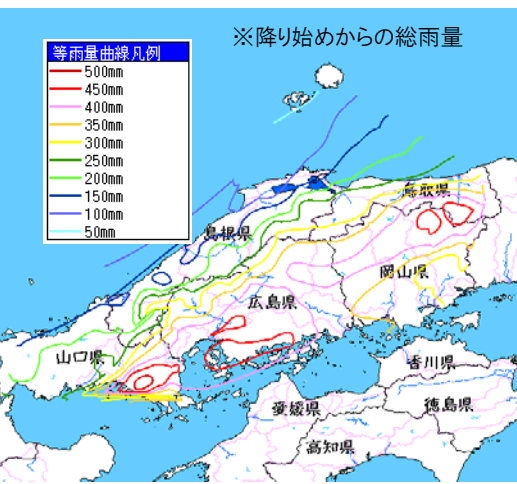
ホームページ <http://www.cgr.mlit.go.jp/hattabara/>

平成30年7月豪雨の出水概要

■7月5日（木）から本州付近に停滞する梅雨前線の活動が活発になり、芦田川流域では降り始めからの総降水量が約385mmを記録しました。
7月6日には広島県に大雨特別警報が発表され、記録的な豪雨となりました。
■芦田川では矢野原地点、山手地点、高屋川では御幸地点の水位観測所において「氾濫危険水位」を超過しました。

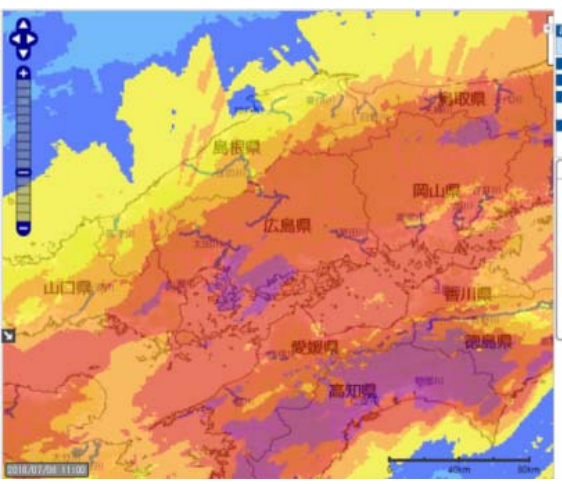
■等雨量線図

【国土交通省作成】



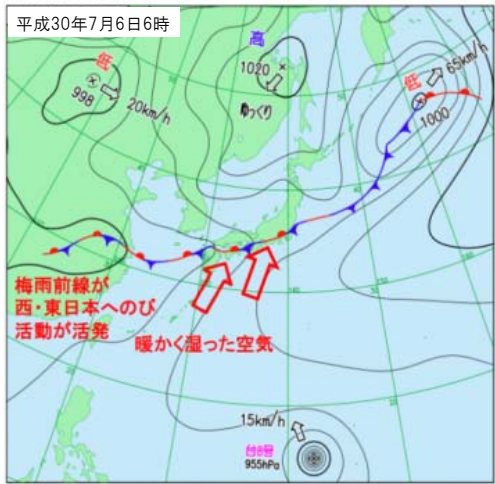
■累加雨量図 (Gバンドレダー)

【国土交通省作成】



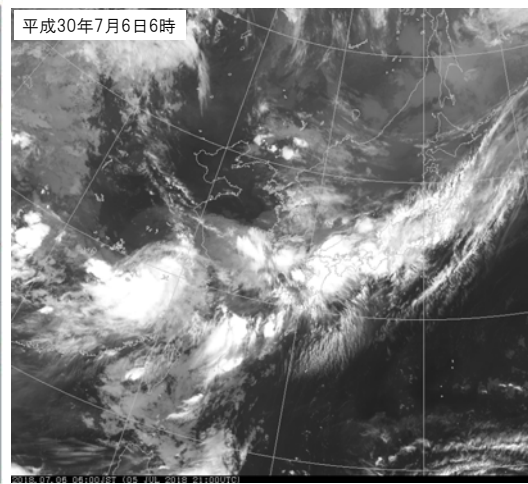
■実況天気図

【気象庁HPより】

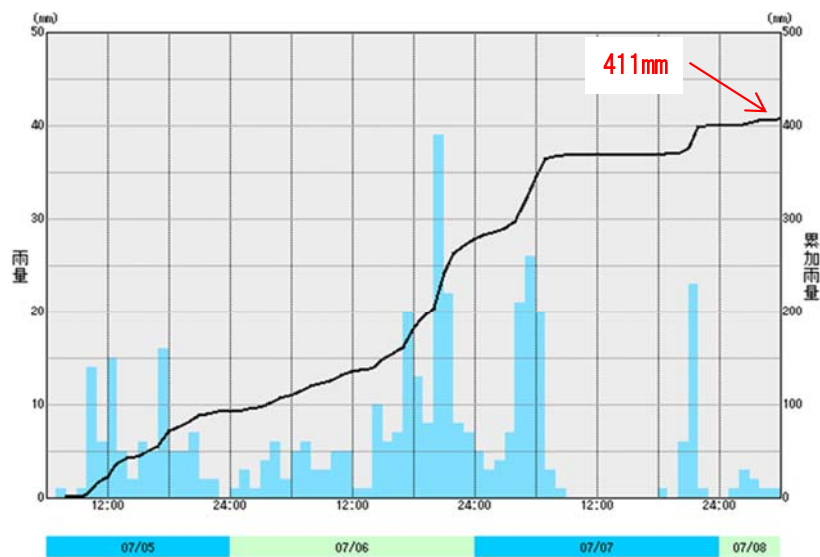


■衛星画像

【気象庁HPより】

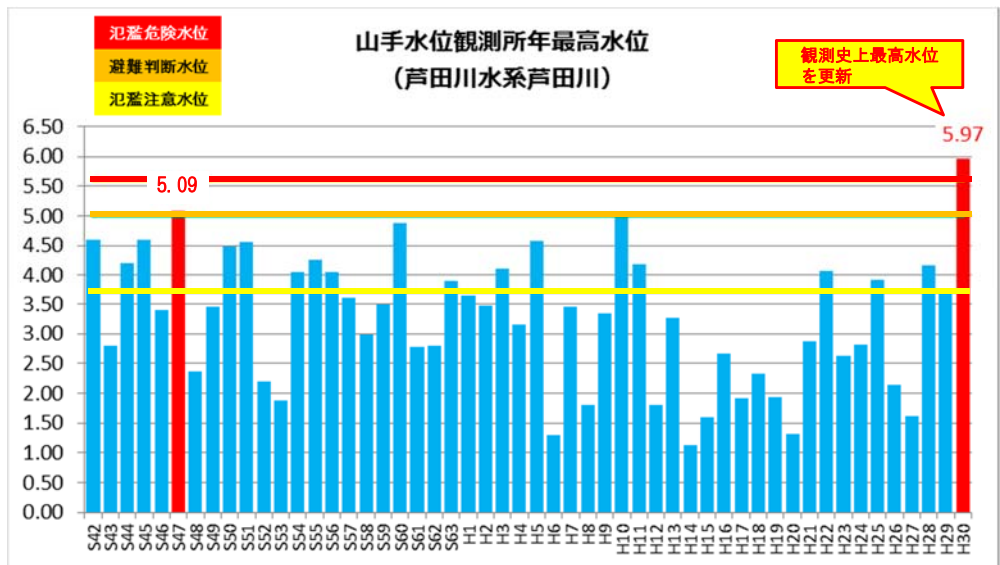


■御調雨量観測所の状況



御調雨量観測所

■山手水位観測所



※本資料の数値等は速報値であるため、今後の精査等により変更する場合があります。

八田原ダム・芦田川河道掘削の効果

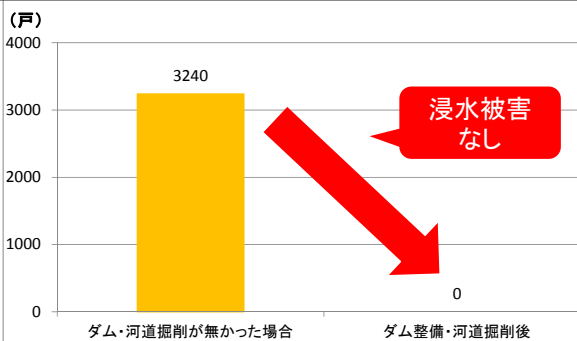
- 梅雨前線の影響により、芦田川流域の流域平均総雨量は約385mm(7月5日(木)4:00~8日(日)12:00)を記録し、^{やまて}山手水位観測所では計画高水位を超過しました
- 八田原ダムの整備と河道掘削を実施した結果、栗柄・高木地区において、掘削前と比べて芦田川の水位を約50cm(ダム:約33cm、河道掘削:約17cm)下げることができました。
- 今回の洪水では、高木地区での堤防決壊を想定した場合に比べて、約340haの土地及び約3,240戸の家屋の浸水被害を防止したものと推定されます。



今回の洪水による八田原ダム・河道掘削が無かった場合の高木地区の浸水想定



今回の洪水による整備前後の浸水被害の比較(浸水戸数)

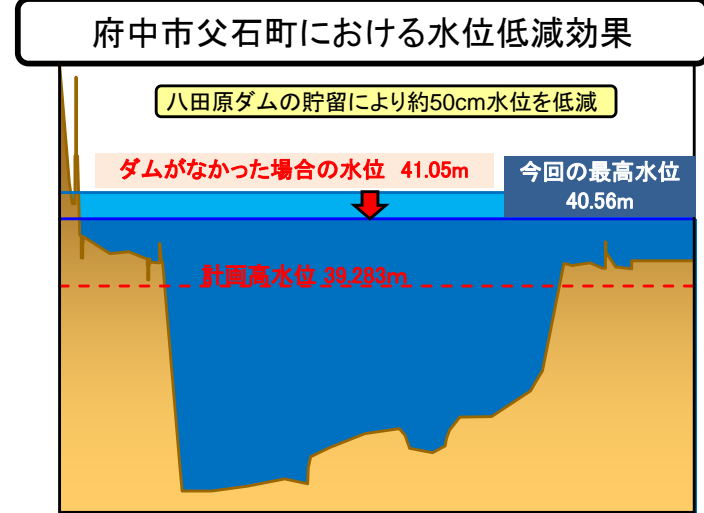
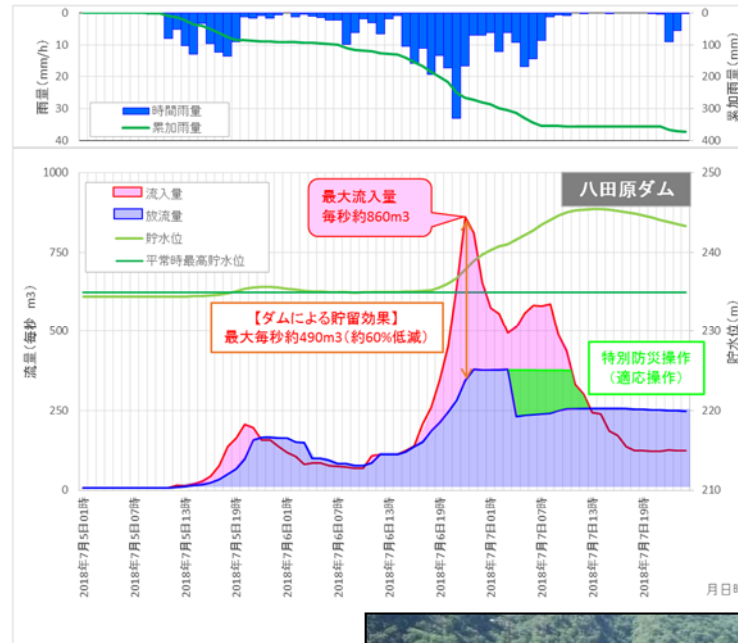
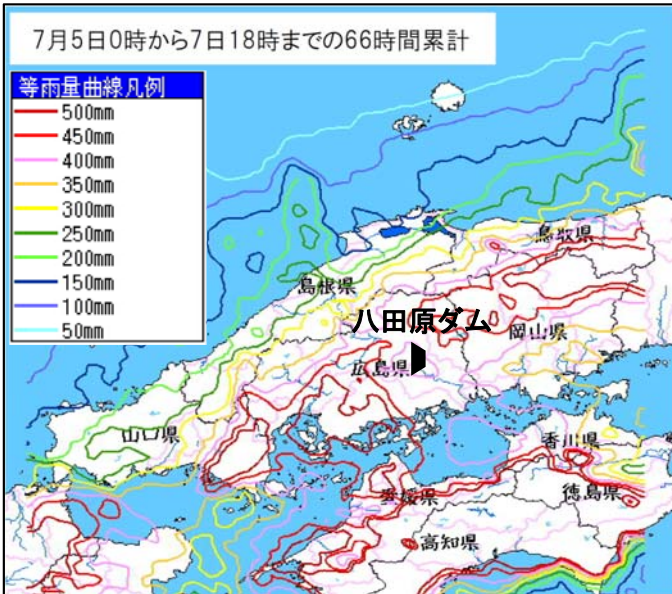


※本資料の数値等は速報値であるため、今後の精査等により変更する場合があります。 2

八田原ダムの効果

- 芦田川水系芦田川に位置する八田原ダムでは、平成30年7月5日からダムの防災操作を行いました。
- 今回の豪雨では、平成10年4月の管理開始以降、最大の流入量(毎秒約860m³)に達し、このうち毎秒約490m³の洪水をダムに貯めました。
- その結果、府中市父石町の水位を約50cm低減させ、浸水被害を軽減させたと推定されます。またその後、特別防災操作を実施し、同地点で約40cm水位低減する効果があったと推定されます。

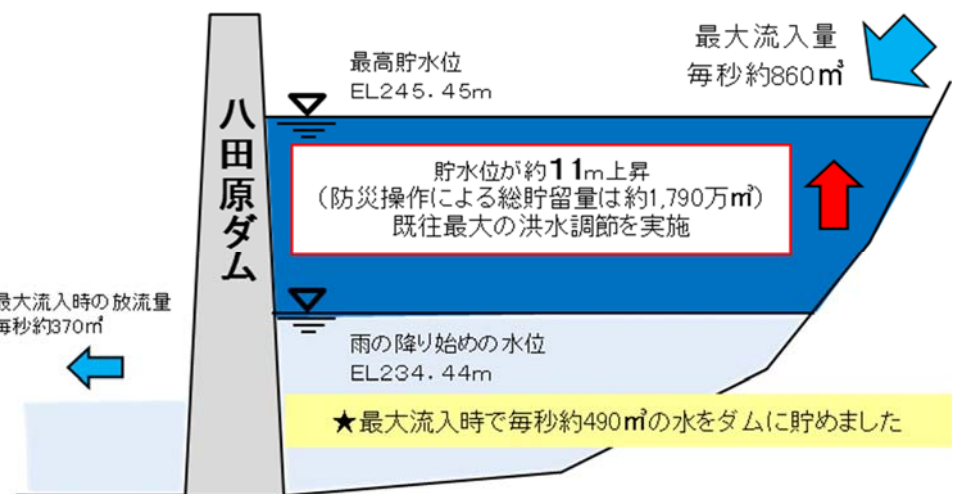
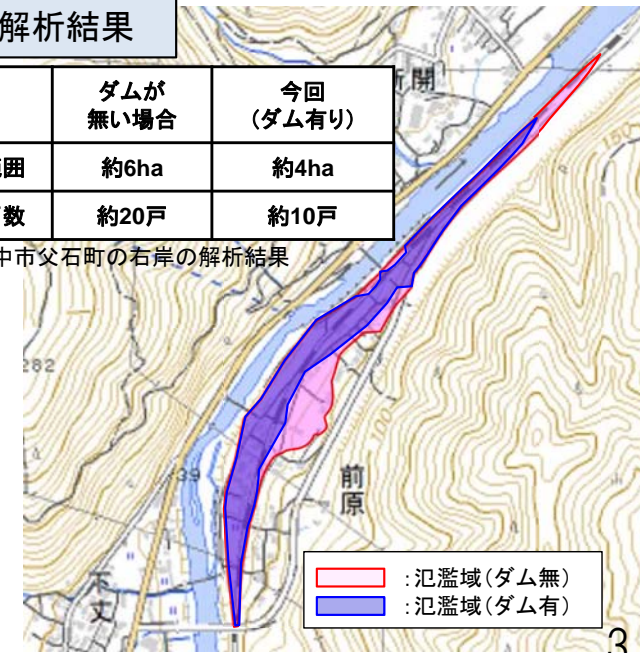
■ 等雨量線図 ※中国地方整備局作成



氾濫解析結果

	ダムが無い場合	今回(ダム有り)
浸水範囲	約6ha	約4ha
浸水戸数	約20戸	約10戸

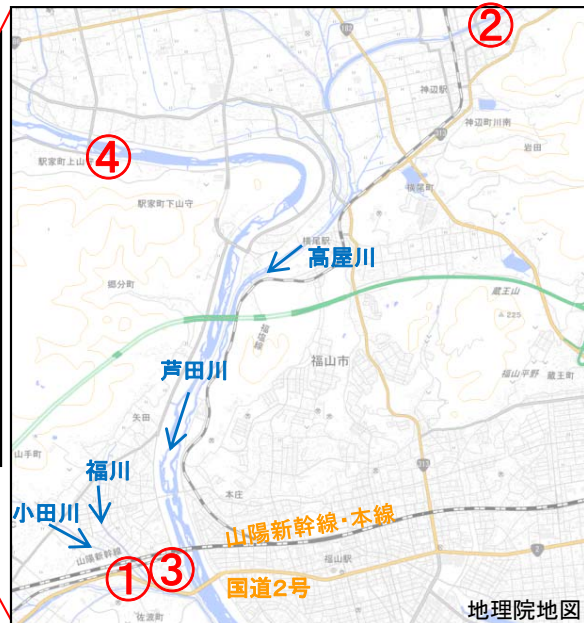
※府中市父石町の右岸の解析結果



※本資料の数値等は速報値であるため、今後の精査等により変更する場合があります。

排水ポンプ車等の災害対策機械の稼働状況

■平成30年7月5日からの梅雨前線に伴う豪雨により、芦田川沿川では内水氾濫が発生し、自治体からの要請により排水ポンプ車を派遣し、内水排除を実施しました。



★広島県(福山市)
・排水ポンプ車 30m³/min × 6台
・照明車 × 1台

